

●双葉町の復興まちづくりの理念(案)

①復興まちづくりの基本理念

双葉町の復興まちづくりの理念は、双葉町復興まちづくり計画（第一次）において、以下の３つの理念が示されています。この３つの理念を基礎として、双葉町の復興まちづくりを進めていきます。

■双葉町復興まちづくり計画（第一次）
□復興まちづくりの理念 “町民一人一人の復興”と“町の復興”をめざして ・生活再建の決意暮らしの復興めざして みんなで 頑張ろう 双葉町 ・町民のきずな・結びつきつなげよう つながろう 双葉町 ・町の再興への決意子どもたちの未来のために とりもどそう 美しいふるさと双葉町

②復興まちづくり長期ビジョンの意義

関連する主な委員会意見	復興まちづくりの長期ビジョンの意義（案）
・帰還があまりにも漠然としている ・何年後に帰還できるか、はっきりした事もわからない中で、夢だけを語り討論することは難しい ・現時点で双葉町の夢ある復興の姿は考えられない ・子どもたちに町を残さなければならぬ ・ふるさとはなくしたくない、地図上から双葉町を消してはいけない ・私たちが次の世代に残す理想的な双葉町の姿を議論することも必要 ・双葉町を取り戻すという気持ちを継承する ・未来までのプロセスをしっかりしてほしい ・帰還の条件をすべて達成することを前提として、理想の姿を議論してはどうか ・国・県・町が将来像をはっきり示さない と復興の議論は難しいのではないかと	○復興まちづくり長期ビジョンの検討にあたっては、帰還の時期が明確にならないと町の将来の姿を考えることができないといった意見がある一方で、理想とする双葉町の姿を子どもたちに対して残すべきではないかとの意見もありました。 ○双葉町復興まちづくりの基本理念の一つは、「子どもたちの未来のために とりもどそう 美しいふるさと双葉町」となっています。その取組に向けても町の将来の姿を示すことは不可欠です。 ○そのため、復興まちづくり長期ビジョンは、帰還・復興の見通しが明確になっていない現状において双葉町の復興・再興に向けた取組を進めていく上で、帰還や復興に要する期間から考えるのではなく、 <u>何年かかっても実現すべき理想とする双葉町の将来の姿を示すもの</u> として策定します。

③帰還・復興に向けた考え方

関連する主な委員会意見	帰還・復興に向けた考え方（案）
・何年後に帰れるのか ・原子力発電所事故の収束を見据えなくては、復興が始まらないのではないかと ・除染の期日等、国が方針を示すべきである ・中間貯蔵施設や廃炉の問題など帰還の妨げになっていることはたくさんある ・県内外に避難を余儀なくされた結果、現在の地への永住を決めた方の考え方も、お互いに尊重すること を前提にふるさとの復興を考えることが大事 ・復興とはいっても夢物語を語るだけでなく、現実を見ることも必要	○復興まちづくり長期ビジョンの実現に要する期間は、放射線量の減衰の見通し、除染の見通し、福島第一原子力発電所の廃炉の見通し、中間貯蔵施設の動向など、町単独で見通しを検討する範囲を大きく超えています。 ○そのため、まず、町民が理想とする町の将来像をとりまとめ、逆にこの理想とする将来像を実現するまでの期間を国・県に明示させるよう取り組んで行くことが適切と考えます。 ○また、実際に町に帰還するかどうかは、町民一人一人の判断であり、町へ戻らないと決めた方の選択も尊重した上で、町へ帰りたい・町はなくせないという町民の思いに添えて、町の復興に取り組んでいく必要があります。あわせて、各避難先で町民一人一人が生活再建を果たすことができるようにすることも重要と考えます。 ○町への帰還に当たって、 <u>町民の皆さんの安全・安心が担保されることは、この将来像の大前提です。避難指示の解除は、復興まちづくり計画（第一次）において整理されているような条件が達成された段階で、町民の意見を十分に踏まえて判断されることは当然です。</u>

■帰還に当たっての条件〈双葉町復興まちづくり計画（第一次）〉

- 双葉町への帰還は、町民のみなさんの安全・安心が担保されることが前提です。そのため、
 - ◆避難指示が解除される地域の放射線量は十分に低くなっていること（除染は年間追加被ばく線量が１ミリシーベルト以下になることを目指すこと）
 - ◆福島第一原子力発電所の廃炉措置の安全が確保されていること
 - ◆電気、上下水道、道路・鉄道、通信などのインフラの復旧が終わっていること
 - ◆町役場の再開に加えて、保健・医療・福祉・教育のほか郵便・商業など生活関連サービスの再開がなされること
 などが必要です。
- 町民のみなさんが安全に安心して帰還ができるよう、国による避難指示の解除は、これらの条件が達成された段階で、町民の意見を十分に踏まえて、解除の判断がなされるよう、国に要求していきます。